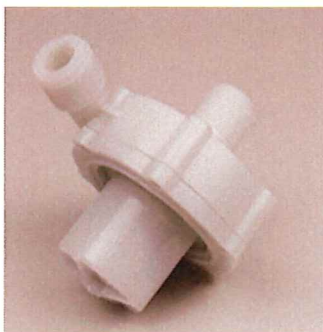


本体セット（マグネットポンプ MD-30RM-N本体頭部）の交換手順

概要

フロントケーシングの摩耗や破損がある場合、マグネットの脱調や異物によるマグネットの不具合が発生した場合本体セットを交換します



1. メイン電源をOFFしてください

（電源を入れたままですと間欠運転が始動しチェーンに巻き込まれる恐れがあります。）

2. 液受けタンクを取り外します。

3. マグネットポンプの下に液受けトレイを引きます

液漏れが予想されますので、受けのトレイを引くことをお勧めします

4. (分解) 自吸タンクを外します

ユニオン継手を外し、自吸タンクのネジ4か所を緩め、自吸タンクを外します。

この時に液が出てくる場合があります。パッキンの紛失には注意して下さい

5. 白色の本体セットを外し交換します

自吸タンクを外した場合、上部のネジ2か所を外します。

本体セットが外れますので、新品と交換して下さい。

6. 組み立てます

分解の逆手順で組み立てていきます。

この時ネジをしっかり締め、パッキンの付け忘れの無いようにします。

7. 液漏れの確認

水などの液を入れ液漏れ名無いことを確認します

無ければ、液を循環させて再度確認します

8. 増締めをします

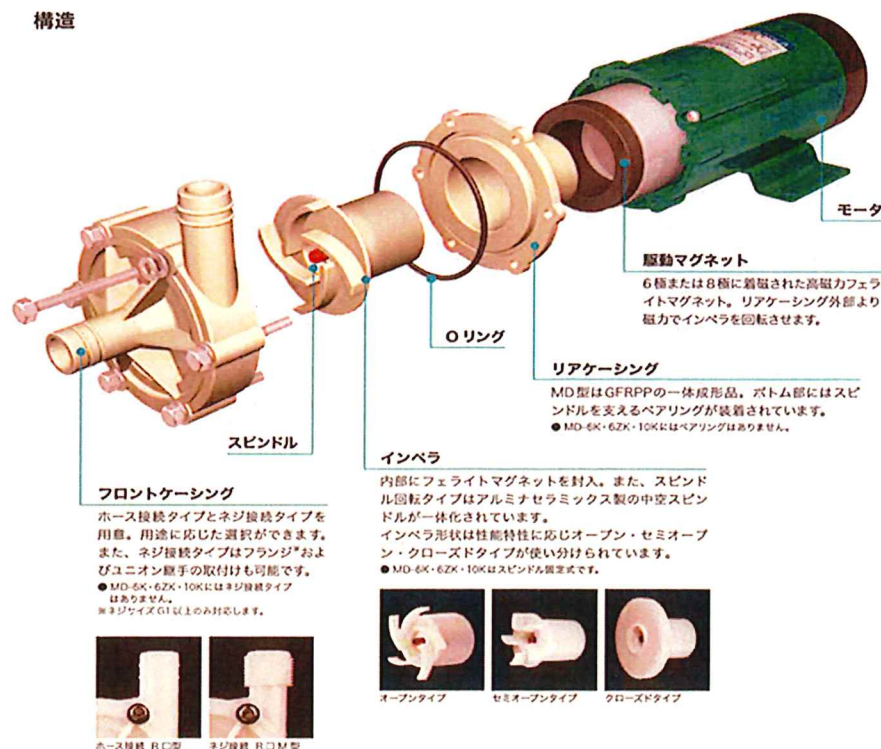
液漏れが無い場合は自吸タンクのネジを増締めして終了です

注意

液が出ない、ポンプが動かない、ゴミが詰まっている場合もこの作業を行います。

また、Oリングやパッキンが無い場合は液が出ない場合もありますので注意して下さい

構造

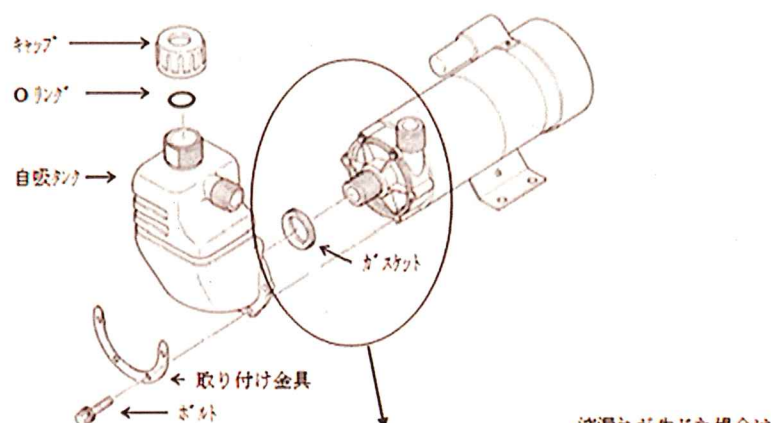


【液循環用自吸式ポンプ分解図】

吸い込み側と出口側のホースを外します。ポンプ本体と自吸シリンダを接合しているボルトを外すと下図の様に分解できます。

液漏れが生じる場合は、ガスケットでのシールが出来なくなったものと思われますので、ガスケットの交換または組み立てるとき、シリコン充填剤をガスケットの周囲に塗り組み立ててください。(注：組み立ての際、ガスケットの向きに注意して下さい)

※現在、キャップは閉めすぎ等により割れが発生し易い為、シリコン柱#9を使用しています。



液漏れが生じた場合はこの部分に充填剤を塗ってください。

【新品のポンプと補助シリンダの接続】

ポンプとフロントケーシングを止めてあるボルトの下4箇所を取り外す。上2箇所のボルトの締め付けを確認する。(緩んでいる場合は締め付ける)次にガスケットに十分にシリコンをつける。中、外くまなくつける事。つけ終わったらフロントケーシングに取り付け自吸シリンダを取り付け金具をはめてボルトで固定する。

